

31歳 茨城県議会議員 あおやま やまと

青山 大人

公式ホームページ <http://www.aoyamayamato.net/>
公式ブログ <http://aoyamayamato.blog107.fc2.com/>
公式ブログ日々更新中!!ぜひご覧ください!

1979年1月生まれ。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高(第49回卒、ハンドボール部)、慶大経卒業。茨城県議会議員(27歳で初当選、当時全国最年少)。第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表。土浦市消防団第27分団員(H20、21年操法大会2番員選手)。土浦檢察審査協会土浦支部長。

土浦から巻き起こせ!
若い力でがらみ一掃!!

ブログQRコード

青山大人

検索



座右の銘

「人事を尽くして天命を待つ」

愛読書

吉川英治「三国志」

新人議員で最多、4度目の一般質問に向けて

いつも大変お世話になっております。平成18年12月に皆様から多大なご支援をいただき、県議会議員になってから、早4年目に入りました。この間、常に皆様への感謝の気持ちと初心を忘れることなく、茨城県南県西地域の将来像、茨城県の行財政改革、そして地元のことを第一に取り組みながら、議会において自らの政治信念を貫いてきました。そして、この度3月4日に新人議員としては最多の4回目の一般質問をします。

自然災害の被災者に対する 県独自の見舞金制度創設

昨年10月に発生した台風18号による竜巻で土浦市宍塚地区ほか災害が発生しました。本県ではこれまで竜巻などによる局地的な災害を想定した支援制度がありませんでした。この問題を議会で取り上げ支援金制度の創設へと実現しました。

乳幼児医療費の支援拡大

青山大人は、子育て支援の一つとして、現在、未就学時まで対象としている乳幼児医療費助成の対象を拡大するよう取り組んできました。(因みに、土浦市では県の制度に独自に上乘せをして、入院に



については中学校卒業まで支援されております。)

これまでの取り組みによって、茨城県では今年の10月から入院、外来とも小学校三年生まで拡大することになる見込みです。

全国の状況を見ると、入院・外来とも小学生以上としているところは中学生までを対象としている群馬と東京、小学生3年生までを対象としている栃木と兵庫の4都県のみであり、今回の改正が実現すれば、群馬及び東京に次ぐレベルとなります。

地域の課題に対するこれまでの取り組みの成果の一部

都和地区に新交番設置

平成18年7月に地元の多くの方々の署名で都和地区交番設置の要望が県にありました。この実現に向けて、地元方々、市議の方々の協力を得て、ついに今年の3月に実現へととなりました。青山も一般質問において2度、この都和地区新交番設置を取り上げ側面からサポートしてきました。また、新治地区の高岡駐在所を残すべき主張をしてきました。

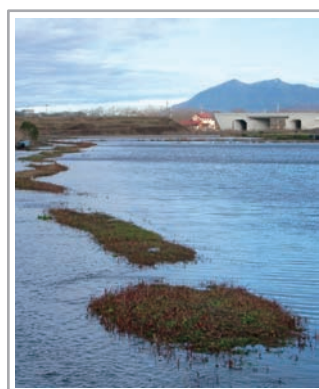
土浦市内の全小学校の通学路安全点検事業の実施

青山が議員になる前は県全体の94%の小学校で実施されているのに、土浦市内においては荒川沖小、右粉小、東小、都和南小の4校も未実施でした。この問題を一般質問で取り上げ土浦市内全ての小学校で点検が完了しました。今後も、危険箇所について随時改善をしていきたいと思えます。

乙戸川改修工事

かつて国の三位一体の改革により国の補助事業から外され、県の単独事業として行っている乙戸川上流部分の改修工事。

6年前には年間の予算が1400万円まで落ち込み、周辺地域は水害に悩まされました。青山が議員になったこの3年間は年間約3000万円の予算をつけて改修のスピードを上げております。



乙戸川の氾濫
(以前の様子)



改修工事
(現在の様子)

神立駅西口 土地区画整理事業について

今年の1月に土浦、かすみがうら両市長が協議し、

平成22年度に都市計画決定することで合意しました。今後は、神立駅の橋上化及び東西自由通路の整備、駅前広場と交差する県道の整備について周辺地域の県議とも協力して取り組んでいきます。

●議会以外の活動でも注目されております。

日本代表として米国議員団を 土浦の中学校に招待

日米青年政治指導者交流プログラムで日本を訪れているアメリカの若手地方議員らが19日、右粉の市立土浦六中を訪問し、3年生の英語の授業を見学した。

同プログラムは、日米の若手議員や政策スタッフがお互いの国を訪問して交流を深める目的で1973年から行われている。アメリカからは共和党5人、民主党4人の計9人の州議会議員などが8日から訪日

米議員が授業見学
◆土浦◆ 日米青年政治指導者交流プログラムで日本を訪れているアメリカの若手地方議員らが19日、右粉の市立土浦六中を訪問し、3年生の英語の授業を見学した。
同プログラムは、日米の若手議員や政策スタッフがお互いの国を訪問して交流を深める目的で1973年から行われている。アメリカからは共和党5人、民主党4人の計9人の州議会議員などが8日から訪日し、東京、長野を経て来県。青山大人県議が、同プログラムの日本団に選抜されたことから茨城を訪れた。

し、東京、長野を経て来県。青山大人県議が、同プログラムの日本団に選抜されたことから茨城を訪れた。(平成20年11月20日、読売新聞より)